



のぞいてみよう
堺市の生物多様性

ニホンアマガエル

堺いきもの通信

2021 夏号

堺いきもの通信では
堺のいきものや、生物多様性を
もっと多くの人に知ってもらうために
実際に堺市内で見られるいきものを
写真でご紹介します！

6月～9月に堺市内で見られる！

堺にすむ

いきものたち



堺にすむいきものや彼らのすみかのことをどのくらい知っていますか？

ここでご紹介する写真はすべて堺市内で撮影された写真です！

Webサイト「堺いきもの情報館」に、市民の方などからご投稿いただきました。個性豊かないきものたちや彼らのすみかを見て・知って、堺の生物多様性を感じてみてください。



コクワガタ



スッポン



クチナシ

こんないきものが
堺市内で見られるんだね！



ヒメアカタテハ



クロアゲハ



ヤマガラ

色とりどりで
すてきだねー！



ヒバカリ



マイコアカネ



生物多様性とは



「すべての生物の間に違いがあること」

たくさんの個性豊かないきものたちが、**つながり**をもって生きています。

堺市の生物多様性を知るには「堺にはいろんないきものがいて、いろんなすみかがある」と知るところから！



いきもの知りになろう！

～ トンボの見分け方 ウチワヤンマ編～



ウチワヤンマ



タイワンウチワヤンマ

ウチワヤンマは堺市レッドリスト2021掲載種（Bランク）で、台湾ウチワヤンマは一般的に見られる種です。どちらの名前にも“ヤンマ”という名前がついていますが、ヤンマ科ではなくサナエトンボ科に属し、平地～丘陵の池のまわりなどで見られます。

一見そっくりな2種ですが、腹部の先にある“ウチワ”を見比べると、簡単に見分けることができます。ウチワヤンマのウチワは黒縁の内側が黄色ですが、台湾ウチワヤンマのウチワは真っ黒で少々小さめです。堺市内で見つけたら、ウチワの色や大きさをみて、見分けてみてください。



オオスカシバ



クロベンケイガニ



ゴイサギ



ミサゴ



カジカガエル

いきものたちのすみか

いきものたちはどこにすんでいるのか？

ここでご紹介する多くの写真にはいきものの姿だけでなく、様々な自然環境が写りこんでいます。草地や樹木の枝先、水辺など、彼らのすみかは多種多様です。

堺市内には草地のある公園やため池、河川、木々がしげる古墳や南部丘陵などといったいきものたちのすみかがたくさん存在します。みなさんの身近な場所にあるすみかにもいろんないきものたちがすんでいるはずですよ。

このように様々なすみかがあることを生物多様性の一つである「生態系の多様性」といいます。

**生物多様性とは
身近なものなんですよ！**

すみかはどこかな？



ミズオオバコ



センダイムシクイ

夏と生物多様性のおはなし

これまで3つの生態系サービスについてご紹介しましたが、お読みいただけましたでしょうか。3つの生態系サービスとは「文化的サービス」「供給サービス」「調整サービス」のことです。今回は4つある生態系サービスのうち、最後の「**基盤サービス**」についてのおはなしです。

“基盤”とは物事の土台や基礎、という意味です。その名の通り、基盤サービスは**他3つの生態系サービスを支える役割**をしています。例えば、二酸化炭素の吸収。これは基盤サービスのうちの一つです。植物や植物プランクトンは光合成によって二酸化炭素を吸収し、栄養を作るとともに酸素を放出します。この作用は私たちを含む多くのいきものにとって欠かせないもの、まさに“物事の基盤”です。つまり、基盤サービスがあるからこそ、私たちは他の3つの生態系サービスの恩恵を受けることができるのです。

私たちは様々な場面で生物多様性の恩恵を受けています。そして、そのサービスを受けるためには**生物多様性への理解を深め、身近なところから守っていくことが大切**です。

参考文献：宮下直、瀧本岳、鈴木牧、佐野光彦著『生物多様性概論「自然のしくみと社会のとらえ」』朝倉書店、2017/3/10
小泉武栄[監修]、岡崎務[著]「さぐる生物多様性 身近な生きものはなぜ消えた？」PHP研究所、2020/9/3



Webサイト
トップページ



Instagram
アカウント

ユーザーネーム

sakai_ikimono

《編集・発行》

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL：072-228-7440 / FAX：072-228-7317

E-mail：kankyo@city.sakai.lg.jp